

活動名	パレット祭り ボランティア	報告者	看護科
日時	10月28日(日) 8:20~15:40		
場所	パレットたつの		
参加人数(所属)	生徒3名、教員1名		
目的	実習でお世話になっている施設の利用者さんと触れ合い、助け合う心を育てる		

龍北祭の翌日2年生の基礎看護実習でお世話になっているパレット会へボランティア活動に行きました。一年生にとって初めてのボランティア活動でした。

以下に生徒の感想の一部を紹介します。

1年Aさん

早朝より、模擬店の準備、会場設営と予想以上に大変な始まりでした。

祭りがスタートすると、入所されている方が、たくさん会場へ集まって来られました。

私は、障害のある方と接するのは初めてでとても緊張していましたが、挨拶をすると笑顔で返してくださり、緊張が一気にほぐれました。私は、スタンプラリーの受付を手伝いました。大人も子供も老若男女問わず、たくさんの方が参加され、参加者の笑顔に胸がいっぱいになりました。

今回の活動を終えて、私は、ボランティアは、人と出会い、自己を高める素晴らしい活動だと強く思いました。会場の片づけまで大変な作業が多かったけれど、施設の利用者さんや職員の方々に感謝の言葉をいただき、うれしさと心の満足感で胸がいっぱいになりました。今日一日でボランティア活動が好きになりました。これからも積極的に参加しようと思いました。

1年Bさん

パレット会のボランティア活動は、わたしにとって素晴らしい体験になりました。

今回スタンプラリーの受付やゲームの担当になりました。小さな子供たちに説明すれば、すぐに理解し、遊んでもらえました。障害のある利用者の方は、なかなか理解してもらえず、困ってしまいました。

私自身コミュニケーション能力には自信があったのですが、対応できず未熟だとわかり、スタッフの方の対応には、尊敬しました。

今回一番うれしかったのは、利用者の方が、「龍野北の生徒さんですね。いつもありがとうございます。」とわざわざ感謝の気持ちを伝えに来てくださったことです。初めてボランティアに参加し、大変な作業もあったけれど、この言葉をもらい、もっともっと頑張ろうと思いました。

生徒の感想にもあるように、ボランティア活動を通して、たくさんの人と出会い、接する中で生徒たちは、大きく成長しています。

利用者みなさん、スタッフみなさんありがとうございました。